

花びと通信

公開講座 園芸療法について～花と緑で心も元気～

日 時：2013年9月21日（土） 13：30～15：30
場 所：千葉中央コミュニティセンター 8階 特別会議室
参加者：104名
講 師：岩崎寛先生

初めて花びと会主催の公開講座を企画しました。今後も皆さんの関心の高いテーマについて、講座を開催しネットワークを広げて行きたいと思います。

講演会に参加して

お彼岸の三連休の初日、午前中千葉公園のヒガンバナの幻想的な花のつくりを楽しみ、その足で市役所協の中央コミュニティセンターで岩崎先生の園芸療法についての講演を聞かせていただきました。



園芸療法という言葉は知っていましたが、実際に勉強するのは始めてでした。

私も社会福祉事業団に昨年までいたので肢体不自由な人や聴覚障害の人たちを対象に植物の解説をしたことがありました。とても熱心に聴いていただき喜んでもらい充実した気持ちになった経験がありました。でもその後の受講者のアンケートを見せてもらったら「話の

テンポが速かった」などの意見が書かれており、自分ではゆっくりわかりやすく話したつもりが、十分受講者の立場に立っていなかったんだなと感じました。

こんな経験を踏まえて「園芸療法」の講演会を聴く機会ができとても期待し参加しました。

先生からいくつかの実証結果を見せてもらい苦労した話や対象者の思わぬ反応に驚いたことなど、具体的に数字で示されやはり効果があるのだと確認できとても興味深く聞かせていただきました。

対象者（患者）の状況を理解することはもとよりやはり周りの人の理解が大切だと感じました。そのためには介護をしている人たちの植物、園芸への理解が必要であり植物好きになることが対象者への良い影響があると感じました。

「手あて」ということばがあります。お母さんがやさしく子供さんのお腹に手を当てさすってあげると気持ちが安らぐといえます。植物にもお母さんの手のような力があるのではないのでしょうか。花を育て花からエネルギーをもらい心安らぐ花には特殊な力があるのだと再確認しました。

定員より多くの人に参加し会員手作りのアレンジメントに囲まれ、帰りには会員皆で挿し木をしたハーブ苗をもらい楽しく講演を聞く事ができました。

このような新しい取り組みの紹介は日常生活の一つの刺激になりとても良かったです。

今後も楽しい企画に期待します。

【会員 鈴木康博】

一日研修 企業訪問&見浜園探索

11月7日(木) あいにくの雨でしたが、21の方が参加してくださいました。

午前中は雪印種苗株式会社・千葉研究農場へ行き、スライドを見ながら事業の取り組みの説明を伺いました。自然復元関連事業の紹介や、酪農・畜産・畑作・園芸・緑化・植生・環境分野の発展に貢献するため、研究開発を行っているそうです。



又、平成17年度より稲毛海浜公園の稲毛の浜のハマヒルガオの植生復元にも協力しているとの事でした。雨で農場視察は出来ませんでしたが、シクラメンの栽培ハウスを見学しました。



午後は見浜園へ行きました。初代の園長で見浜園の設計等でも関わられた畝山さんにスライド使って「日本庭園の見方」を教えて頂きその後、園内を探索し垣根の高さ

池の石の配置 茶室からの眺望等について詳しくお話をして頂きました。

※参加者感想※

- ・企業の社会貢献として自然復元事業に将来を担う子ども達を取り込んでいるは素晴らしい事だと思った。
- ・市内にこのような研究所がある事をしり

企業の取り組みを聞いて良かった。

- ・企画が多すぎて時間が少なく残念。
- ・日本庭園の見方の講義を聞いてからの散策は勉強になった。
- ・日本庭園を参考にして庭作りをしたい



見浜園での記念撮影

会員研修 クリスマスアレンジ



11月25日(月)千葉中央コミュニティーセンター5階多目的室において「クリスマスに向けてのアレンジ」をDFA(会員)の寺辻さんに教えて頂きました。パリススタイルのドーム型アレンジ。「横からは半円形、上からは丸く見えるように形を作りましょう」と先生のお話に悪戦苦闘。それでもワイワイ、ガヤガヤ楽しくそれぞれが私流に素敵な作品を完成させました。

〈参加者の声〉

- ・殺風景なリビングが一気に明るくなりそうです。
- ・初めてのアレンジ体験でしたが、ご指導いただき大満足！楽しかったです。
- ・今年はこれでワンランクUPのXmasになりそうです。



笑顔も素敵な参加者の皆さん

会員研修報告

12月11日（水）に、花びと会のアドバイザーの柳井先生を囲んで会員研修会を千葉市文化センターにて開催しました。

1部では、緑区で花卉生産者で会員の市原清さんから「仲間が語る花づくり」と題してお話を伺いました。

昭和35年に就農してはや半世紀。その時代の時代背景と共に語られた花卉生産に至るまでの道のりは大変興味深いお話でした。日本で他にない野菜づくりとズッキーニーや完熟トマトの栽培など常にチャレンジ精神をもって取り組んできた事。その先見の明は、素晴らしく現代社会を乗り切る示唆に富んだお話でした。

2部は、フリートークとして、参加した会員による普段の活動で困っていることや魅力ある活動にするためにはどうするかの意見交換会を行いました。失敗談や様々なアイデアも出て有意義な時間となりました。

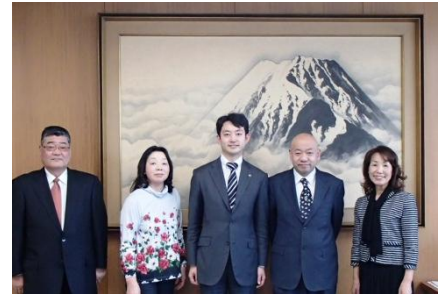


市長ランチミーティング

平成26年2月18日（火）、熊谷市長とのランチミーティングに、会員4名で市長公室にお邪魔しました。

花びと会をはじめとする、地域活動に関わる団体の担い手不足の問題や、花や緑に係るイベントの運営等について、1時間じっくりとお話をさせていただきました。

花びと会からは熊谷市長に対し、会主催のボランティア講座の構想をお話しするなど、様々な意見を交わすことができ、大変貴重な時間となりました。



世界らん展鑑賞と小石川後樂園探訪に参加して



2月19日（水）、東京ドームに世界らん展に行きました。今回は、ガイド付きでしたので、出展されている「らん」の数（3,500種・2万株）や世界中のデンドロビュームの種類（2万種）、会場設営の苦労話、展示作品のテーマや「らん」の特性などいろいろな知識を吸収することができ、有意義でした。会場の入り口付近には、オーキッドロードが設けられ、開催テーマ「都会の

真中の楽園」をモチーフにした、多種多様な蘭を華やかに飾り付けた空間やオンシジュームやエビデンドロビュームを中心に、カラフルに飾られた「オーキッドツリー」が展示され感嘆させられました。華道家假屋崎省吾さんのコチョウランを多用した、大胆な作風の作品も展示されており、思わずその作品の魅力に引き込まれました。

小石川後楽園では、数日前に降り積もった雪のために、枝が折れたり、裂けた樹木がありました。満開の白梅や8分咲きの紅梅を観ることができて、最高のパノラマを眺望させてもらいました。ガイドさんから戦災で消失した「唐門」のことや中国風を模した梅林、園内の散策路の一部は中山道を模して造られている、後楽園の敷地は東京ドームの15倍に相当する広大なものであったなどの説明を聞きながら、園内をゆっくりと散策できたので、私にとっては大満足な鑑賞会でありました。



【会員 伊藤友一】

公開講座 パートⅡ 園芸療法について ～生活に生かす植物の癒し～
体験プチ園芸療法 **豆を使ってタオルハンガーを作ろう！**

日 時：2014年3月1日（土）13：30～15：30
場 所：千葉中央コミュニティセンター 8階特別会議室
参 加 者：30名
講 師：千葉大学大学院園芸学研究科 岩崎寛先生
サポート：千葉大学学生さん6名



前回、大変好評でした園芸療法を再び岩崎先生をお迎えし
前半は、園芸療法の歴史、園芸福祉、緑地福祉、更には園芸療法
の位置づけについての講義を受けました。休憩後、参加者に
豆を使ってタオルハンガーづくりを体験して頂きました。各班に学生さんがついて 助
言をしながら作業を進めてもらいました。初対面の参加者も豆の配置や配色などについて
次第に会話もはずみなごやかな顔となり 作品が次々と出来上がりました。

講師派遣事業 千葉市緑化推進協議会の「早春の寄せ植え講座」

日 時：2014年3月15日（土）10：00～16：00
場 所：三陽メディアフラワーミュージアム 講習室
受 講 者：116名
派遣講師：畔田幾子、斉藤美智子、高橋公子、仙波慶子



日本フラワー&ガーデンショウ 交流コーナー担当
日 時：3月21日～23日 10：00～17：00
会 場：幕張メッセ 9ホール
内 容：ストラップ作り（会期中 11：00、13：30 ）

26年度 総会のご案内

日時：4月16日（水） 14：00～15：30
会場：千葉市文化センター 8階 国際交流プラザ
総会終了後 会員研修 15：30～17：00
～生活に生かすハーブ～



～～～今後の予定～～～～～

- *野馬の里 チュウリップまつり 4月20日（日）10時～
花びと会では、一区画参加してます！
- *オープンガーデン（八街市） 5月中旬
- *大賀ハスを観る会 6月28日（土）

花とひとのネットワーク実行委員会
事務局「千葉市都市局公園緑地部緑政課」
Tel043-245-5753 Fax043-245-5885

個人会員&賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。

千葉公園大賀ハスを観る会を企画運営したり
個人のスキルアップ講座、講演会を開催しています。

個人会員・団体会員：年会費：1,000円

賛助会員 年会費：個人 1口1,000円